

2020年 9月 9日

彦根市議会議員 安澤 勝 様

請願者 彦根・愛知・犬上 原発のない社会をつくる会

事務局長 杉原 秀典

連絡先 彦根市清崎町 5 1 5-9

電話 自宅 0749 - 28 - 2745

携帯 090 - 2108 - 9521

紹介議員

辻 真理子
角井 英明

彦根市の教育施設などに安定ヨウ素剤の事前配布を求める請願

<請願趣旨>

現在、全国で再稼働している9つの原発のうち4つは隣の福井県にあります。高浜原発の3号機と4号機、大飯原発の3号機と4号機です。これに加えて、関西電力は今年中に、3つの老朽原発、高浜1号機(運転歴45年)、高浜2号機(同44年)、美浜3号機(同43年)を再稼働させる準備をしています。

仮に、大飯原発で過酷事故が起きて放射性物質が放出されると、風速4m/sの西風が直進で吹いている場合、彦根市には4.3時間で同物質が飛んできます。その中には、甲状腺ガンを引き起こす「放射性ヨウ素」が含まれています。

ただ、適切な時期に安定ヨウ素剤(ヨウ化カリウム)を服用すれば、甲状腺ガンになることを相当程度に防ぐことが出来ます。原子力規制庁の解説書によれば、放射性ヨウ素を吸入する前24時間から吸入した後2時間までに同剤を服用すれば90%以上のガン抑制効果があります。服用が24時間後になれば、その効果は7%に急減します。

子どもは発達が早い分、放射能の影響を受け易いと言われています。チェルノブイリや福島では、同剤を服用しなかった多くの子どもが甲状腺ガンにかかっています。一方、3303世帯のうち3134世帯に安定ヨウ素剤を事前に配布した福島県の三春町では、甲状腺ガンの発症が殆どなかったと報告されています。

同剤の副作用について、原子力規制庁の「解説書」は「副作用の心配はほとんどない。副作用による健康影響へのリスクよりも、放射性ヨウ素による甲状腺の内部被ばくのリスクの方が大きい」と述べています。また、安定ヨウ素剤は1粒10円以下で購入でき、市財政の大きな負担にはなりません。

原発そのものには賛否両論があります。しかし、原発事故と放射能放出の可能性がある以上、放射能から市民の命や健康を守ることは、すべての住民の願いであり、地方議会の大事な役割だと考えます。

子どもの健康と命を守るために、貴議会に、以下のことを請願します。

<請願事項>

彦根市の全ての教育施設など(幼稚園、保育園、小学校、中学校など)に安定ヨウ素剤を事前に配布すること。

